

資料：地域戦略骨子案新旧対照表

新（修正後）	旧（第2回委員会骨子案）
<p>はじめに（知事あいさつ）</p> <p>第1章 地域戦略の策定にあたって</p> <p>第1節 戦略策定の背景と経緯</p> <p>第2節 <u>戦略策定の目標と期間</u>（第4章第1節より）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中長期目標 2. 短期目標 <p>第3節 <u>戦略策定の視点と主要な4つの柱</u>（第4章第2節より）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦略策定の視点 2. <u>主要な4つの柱</u> <p>第2章 生物多様性とその意義</p> <p>第1節 生物多様性とは何か</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生態系の多様性 2. 種の多様性 3. 種内における遺伝的多様性 <p>第2節 生物多様性から受ける恵み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>生態系サービスという考え方</u> 2. <u>生態系サービスの4つのタイプ</u> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基盤サービス (2) 供給サービス (3) 文化的サービス (4) 調整サービス <p>第3節 生物多様性を脅かす要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発行為による自然の破壊，生息環境の不連続化・縮小化 2. 過剰な採取や捕獲 3. 里山など，二次的自然への関わりの減少 4. 外来生物の侵入・導入 5. 気候変動による生息地の環境変化 <p>第3章 茨城県における生物多様性の現状と課題</p>	<p>はじめに（知事あいさつ）</p> <p>第1章 地域戦略の策定にあたって</p> <p>第1節 戦略策定の背景と経緯</p> <p>第2節 戦略策定の視点</p> <p>第2章 生物多様性とその意義</p> <p>第1節 生物多様性とは</p> <p>○3つのレベルの多様性</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生態系の多様性 (2) 種の多様性 (3) 種内における遺伝的多様性 <p>第2節 生物多様性から受ける恵み</p> <p>○生態系サービスの4つのタイプ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 基盤サービス (2) 供給サービス (3) 文化的サービス (4) 調整サービス <p>第3節 生物多様性を脅かす要因</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発行為による自然の破壊，生息環境の不連続化・縮小化 2. 過剰な採取や捕獲 3. 外来生物の侵入・導入 4. 里山など，二次的自然への関わりの減少 5. 気候変動による生息地の環境変化 <p>第3章 茨城県における生物多様性の現状と課題</p>

<p>第1節 茨城県の自然環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 茨城県の面積，地勢，気候 2. 生態系の多様性と動植物相の特徴 3. レッドデータブックから見た希少生物 4. <u>人と自然の関わりの歴史</u>（第3節1より） <p>第2節 様々な生態系における生物多様性の現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 山地・森林地域 2. 里地里山地域 3. 社寺林 4. <u>近代化</u>・都市化した地域 5. 河川 6. 湖沼・湿地 7. 沿岸地域及び海域・干潟 <p>（旧第4章は第1章等に組み替え）</p>	<p>第1節 茨城県の自然環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 茨城県の面積，地勢，気候 2. 生態系の多様性と動植物相の特徴 3. レッドデータブックから見た希少生物 <p>第2節 様々な生態系における生物多様性の現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 山地・森林地域 2. 里地里山地域 3. 社寺林 4. 都市化した地域 5. 河川 6. 湖沼・湿地 7. 沿岸地域及び海域・干潟 <p>第3節 茨城における人々や産業と生物多様性の関わり（※組み替え）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人と自然の関わりの歴史 2. 農林業と生物多様性 3. 水産業と生物多様性 4. その他の産業と生物多様性 5. 地方文化と生物多様性 6. 原発事故による放射性物質汚染と生物多様性 <p>第4章 「茨城の生物多様性戦略」の目標と4本の柱（※組み替え）</p> <p>第1節 目標と期間及び見直しについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目標 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中長期目標 (2) 短期目標 2. 期間 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中長期目標 (2) 短期目標 3. モニタリングと見直し <p>第2節 戦略の4本の柱</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生態系の保全 2. 生態系の持続可能な利用 3. 生態系保全と持続可能な利用を支え，推進する仕組み 4. 生態系の保全と持続可能な利用に関する教育・普及活動
---	--

第4章 生物多様性の保全と生態系の持続可能な利用に関わる具体的施策

第1節 具体的事例における行動計画と重点プロジェクト

1. ブナ・ミズナラ林等の原生林，自然植生の保全
2. 里山地域や平地林，湿地，二次草原等の保全・再生
3. 霞ヶ浦などの湖内及び湖岸における生物多様性の保全・再生
4. 沿岸域における生物多様性の保全
5. 希少生物の保護・保全
6. 野生鳥獣の保護管理
7. 外来生物の根絶と抑制

第2節 生物多様性の保全や生態系の持続可能な利用を支え推進する仕組みの構築

1. 地域戦略遂行のための組織等の構築
2. 様々な機関・組織との連携・協力（第4節を入れる）

第3節 生態系の保全や持続可能な利用を推進する教育・普及活動の取り組み

1. 小中学校，高校における環境系授業の実践，野外活動の推進
2. 大学における環境系授業の実践，野外活動の推進
3. 社会教育組織・施設による環境教育の推進
4. ボランティアの活用による教育・普及活動の推進
5. 生態系の保全・活用を支え，推進する人材の育成

第4節 気候変動に関わる取り組み

1. 気候変動が生物多様性や生態系に及ぼす影響
2. 気候変動を防ぐ県及び県民の取り組み

第5節 放射性物質汚染に関わる取り組み

1. 生物群集に与える影響のモニタリング
2. 効果的な除線方法の検討

第6節 目標の達成度評価と見直しについて（第4章第1節より）

1. 目標の到達度評価
2. 戦略の改定・見直し

附・資料

- ・用語集，参考文献等

第5章 茨城県における保全と持続可能な利用に関わる具体的施策

第1節 4本の柱に沿った具体的な取り組み

1. 生態系の保全に関わる取り組み
2. 生態系の持続可能な利用に関わる取り組み
3. 生態系の保全や持続可能な利用を支え，推進する仕組み
4. 生態系の保全や持続可能な利用を推進する教育・普及活動

第2節 気候変動に関わる取り組み

1. 気候変動が生物多様性や生態系に及ぼす影響
2. 気候変動を防ぐ県及び県民の取り組み

第3節 放射性物質汚染に関わる取り組み

1. 生物群集に与える影響のモニタリング
2. 効果的な除線方法の検討

第4節 関係主体ごとの役割と取り組み

1. 行政
2. 県民・市民
3. 大学・研究機関
4. 事業者
5. NPO団体など

附・資料

- ・用語集，参考文献等